

風と緑と太陽

尾張旭市立城山小学校
学校だより

平成28年10月18日

第6号
(通算83号)

心を一つに突き進む

校長 浅野 健

6年生二人の力強い宣誓で始まった今年度の運動会。多くの皆さまにご覧いただいたとおり、本校の子どもたちは、素晴らしい姿を見せてくれました。

真剣な顔と笑顔、一人一人の力の発揮と仲間の力の結集。一生懸命で、生き生きとしていて、楽しそう

でまさに子どもたちが輝いていたように思います。「力を出し切ったときに、また新たな力が生まれる。」…子どもたちの飛躍のときでもあったに違いありません。

あの日、子どもたちがいかに全力を尽くし、いかに多くのことを学んだか、クラスに掲示された「運動会の感想」にも、心を打たれるものがたくさんありました。

1年生

「玉入れでおどりをやっていて、おわったらおどりのぶりぶりがかわいかったよってほめてもらったよ。」「大玉おくりがたのしかった。6年生のくみたいそうがすごかった。」

2年生

「OLAをおどったよ。わたしが一番がんばったのは、1・2年生のダンスです。…本番は、大きくおどることができました。」

「大玉GOで、わたしはせいいっぱいがんばりました。」

5年生

「組体操でピラミッドの時、かけ声をあわせてできたので、とてもよかったです。」

「ブラスバンドできんちょうしたけど、最後までふけた！組体操もきれいにできた！」

6年生

「小学校最後の運動会では、雨だと心配されたけれどできました。組体操では力を出し切り、今年の運動会のテーマを胸にし、がんばりました。」

「私が運動会で心に残ったことは“組体操”です。なぜかという、見ている人がとても感動してくれたからです。」

「きんちょうしたけど、紅白対抗リレーでいい走りができてよかったです。でも、もうちょっとバトンをうまくとりたかったです。」

「ブラスバンドは、いつもよりすごいきれいな演奏ができました。」



<1年生チェッコリ 玉入れ>



<3・4年生 THE Sharehappi from 城山キッズ>



<5・6年生心を一つに>

地域を学ぶ いちじくジャムづくり

毎年、3年生が、自分たちが住んでいる尾張旭の特産品を知ろうということで、いちじく畑を見学して、いちじくジャム作りをしています。今年は、あいにくの雨で、いちじく畑の見学はできませんでしたが、市の産業課農政係の方に来ていただき、いちじくについて学びました。いちじくの生産量は、愛知県が日本で一番多いことや尾張旭のいちじくの特徴は「朝採り、完熟いちじく」だということを知りました。

9月20日(火)、21日(水)には、尾張旭の「あぐり生活研究」の方々に来ていただき、いちじくのいわれや育て方、ジャムづくりについて実習をしながら教えていただきました。子どもたちは目を輝かせ、いちじくの魅力を十分に味わいました。

子どもたちが尾張旭市の特色やよさを知ることによって、尾張旭市により愛着をもち、地域を大切にする気持ちが育ってくれればと願っています。



おそうじ上手をめざして おそうじ教室

10月4日(火)、1年生がダスキンの方から、掃除の仕方を学びました。掃除をする理由や大切さを勉強した後、箒の「おさえばき」やぞうきんの「たてしぼり」など掃除道具の使い方を教えていただきました。掃除道具を正しく使って、教室をぴかぴかにすることを目指しています。



地域の人とともに 一人暮らし高齢者ふれあい昼食会

10月2日(日)、校区社会福祉推進協議会主催の一人暮らし高齢者ふれあい昼食会が平子公民館で行われました。

6年生有志と4・5年生の児童会の有志が参加して、歌とリコーダーの演奏を行いました。

その後、お年寄りと一緒に、けん玉、お手玉、あやとり、コマ、折り紙等の昔の遊びをして交流しました。たくさんのお年寄りの温かい笑顔に触れ、次第に子どもたちも優しく会話しながら楽しいひとときを過ごすことができました。また、テーブル上には、PTA執行部が作った、児童に募集した絵がついたランチョンマットがひかれていました。



お礼 運動会では、前日からの雨が早朝まで続き、開催が危ぶまれましたが、たくさんの保護者の方々に協力をいただき、1時間遅れで無事に開催することができました。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。